

# 仙台・宮城野で倉庫稼働

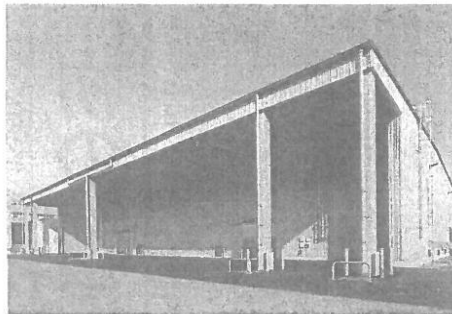
## 大震災復旧完了 サービス品質向上

### 白石倉庫

【宮城】白石倉庫（太宰栄一社長、宮城県白石市）の扇町営業所（仙台市宮城野区）の新2号倉庫が2月21日、稼働した。東日本大震災からの再建の一環で建設。特に被害の大きかった同営業所は、他の拠点より

施設の再整備に時間がかかっていた。新倉庫の完成で、同社の震災からの復旧は終了した。ただ、2021年2月の地震で受けた被害からの復旧はまだ道半ばで、4月中に完了する見込みだ。

扇町営業所は敷地面積が7770平方メートルで、以前は6棟の倉庫を構えていた。ところが、震災で2、4号倉庫は基礎まで損壊。解体を余儀なくされた。当時はコメや暖房器具などを保管していたが、今回は4棟分のスペースにコメ専用の鉄骨造り平屋建ての定温倉庫1棟（床面積2700平方メートル）を整備。1月に完成した白石インター営業所5号倉庫（白石市）と同様、セ



5度から10度までの温度管  
理や二重構造の壁でハイス  
ビスの品質向上を図ってい  
く。また、今回  
も宮城県独自の  
補助金を活用し  
た。

21年2月の地震では、扇町営業所に残されていた1号、6号の両倉庫の床が沈下した。6号倉庫は12月に再

建工事が完了したが、1号倉庫は中の荷物をいったん新2号倉庫に移管。4月末までに改修する。太宰社長は「扇町は震災による荷崩れの被害が一番ひどかった。そんな時、倉庫業青年

経営者協議会の全国の仲間

たちが駆け付け、復旧に力を貸してくれた。あのご恩は決して忘れない。あれから11年、この倉庫完成が一つの節目であり、改めて皆さんに感謝申し上げます。」と話している。（今松大）

進  
ハイスベック  
な倉庫として  
品質向上を推